

第72回愛知県公立大学法人評価委員会会議録

1 日 時

令和7年8月28日（木）午前10時から午前10時40分まで

2 場 所

愛知県三の丸庁舎 8階 801会議室

3 出席者

委員 5人

説明のために出席した者 5人

4 傍聴者

0名

5 議 題

- (1) 第四期中期目標期間の業務実績評価実施要領等について
- (2) 2024年度業務実績に関する評価について
- (3) 第三期中期目標期間における業務実績に関する評価について

6 議事概要

【第四期中期目標期間の業務実績評価実施要領等について】

○ 原案どおり決定した。

【2024年度業務実績に関する評価について】

○ 原案どおり決定した。

【第三期中期目標期間における業務実績に関する評価について】

○ 原案どおり決定した。

7 会議録署名人

石川委員

山本委員

【質疑】

(1) 第四期中期目標期間の業務実績評価実施要領等について

○ 委員

学長や副学長も含め、本庁舎でやるような会議は減るのでしょうか。年に何回でしょうか。

○ 事務局

基本的には1回となります。年度評価を行う場合、これまで3回でしたが、それが1回になり、進捗状況を確認するということになります。見込評価と最終的な評価の年はこれまで通りとなります。

○ 委員

開催時期はいつ頃でしょうか。

○ 事務局

前年度の状況を把握して、それを説明できるような段階でということで、これまでと同じ夏頃、同じような時期になります。

○ 委員

国立の認証評価も減ったんですね。報告書を作るんですけど、まとめてやろうとすると結構大変なんですけど、それでも資料の作成などが大分省力化になるということですかね。

他にご意見ないようでしたら資料1・2については原案どおり決定しますが、よろしかったでしょうか。

(異議なし)

(2) 2024年度業務実績に関する評価について

(3) 第三期中期目標期間における業務実績に関する評価について

○ 委員

評価結果案を取りまとめていきたいと思いますので、法人の方は退席をお願いいたします。

(法人退席)

- 委員
資料３はどこまで公表されるんですか。
- 事務局
資料全体が公表されます。
- 委員
３・４ページの「特筆すべき項目」はⅣ評価の項目からピックアップしたものでですか。
- 事務局
Ⅳ評価の項目が全て記載されています。
- 委員
それでは特段ご意見もないということですので、資料３についてこの評価結果案をもちまして評価員会の評価としたいと思いますが、よろしいでしょうか。
(異議なし)
- 委員
資料４についてはいかがでしょうか。ちなみに、参考資料１・２も公表されるのでしょうか。
- 事務局
参考資料は公開されません。
- 委員
議会に提出されるのは資料３だけですか。
- 事務局
資料３と、４も提出されます。
- 委員
県議会には両方提出されて、承認を受けるということですか。

- 事務局
報告するということです。
- 事務局
会議資料としては、次第にあります資料1から4が公開されます。議会に報告するのは、資料3・4が（案）が取れた形で報告されます。
- 委員
以前に議会で報告されたときに何か質問や、議論がされたことはあるのでしょうか。
- 事務局
前任に聞いた限りでは特段なかったそうです。
- 委員
両大学ともよくやっているということで、ご納得いただけたということですかね。
- 委員
現在は多様性を尊重し、推進することが広く支持されていますが、選挙結果によってはこれを批判する人が登場しないとも限らないので、少し懸念されるところですね。
- 委員
大学の機能が二つ一緒のところは統合してもいいのではないかとか、削ってもいいのではないかという話にもなりかねないが、そこはそれぞれ特色を書いていただいている、役割が違うという形で、それさえ見えていれば大丈夫かなど。
それでは特段ご意見もないようでしたら、資料4についてこの評価結果案をもちまして評価員会の評価としたいと思います。よろしいでしょうか。
- 委員
結果自体に異論はないんですけれども、分類の仕方として「S 非常に優れている。（特に認める場合）」、「A 良好である。（すべてⅢ～Ⅳ）」となっていて、すべてⅣであっても良好になってしまうように読めて、非常に優れているというのがどういう場合なのか、特に認める理由の記載欄がないとフォーマ

ットとして不完全な気がします。特筆すべき事項というのはいくつかピックアップされているんですけれども。全部ⅣならSにならないのかという疑問が今後のために湧いてきたんですけれども、例えばⅣの数がⅢを上回ったらSになるとか、その辺の基準というのが、特に認める場合というのが曖昧で、理由の記載欄が必要になってくるのではないかと、フォーマットの問題として思いました。

○ 委員

過去は全てAなんですね。

○ 事務局

特に認める場合の定義がもともと評価実施要領にないところなので、明確にしがたいところで、Sにするのであれば何かしら理由がいるでしょうから、記載があった方がよろしいですね。

○ 委員

あるいは、圧倒的にⅣが多いような場合にはSにしてよいのではないかとか、その辺りはどうなのでしょう。判で押したようにAだけだと、大学の方もやりがいがあるのかなと。全てⅣでもさらにプラスアルファがないとSになれないのか、全てでなくても圧倒的多数ならSになれるのか、これだと少し不明確なような気がしました。

○ 委員

確かに大学のモチベーションを上げるにはあった方がいいですね。

○ 委員

これだと全てⅣでもAと読めるので、Ⅳの数がⅢを上回っていたらSとか、数字に紐づけたS評価もありかなと。

○ 委員

ぜひ検討していただいて。

特筆すべき項目(評価Ⅳ)は全て記載されているわけではないのでしょうか。14ページだと項番48だけ記載されていますが、上の表だとⅣは2項目あるんですよ。

○ 事務局

重点計画考慮後の項目数でⅣが2つとなっているんですけれども、その下の欄を見ていただくと、もともとは1項目しかないんですが、重点計画は項目数を2倍でカウントしますので、それで2つになっているものです。

○ 委員

それではこの評価結果案につきましては、これを評価委員会の評価とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

2024年度及び第三期中期目標期間の評価が決定されたということで、本日決定した評価については、すみやかに法人へ通知し、知事へ報告するということになります。その際の文言については私と事務局に一任していただくということでよろしくお願いいたします。

【その他】

○ 委員

本日本日の議題は終了しましたが、全体を通して何かございますでしょうか。先ほどあったように、評価時のモチベーションが上がるようなことがあればという話もありましたが。

○ 事務局

最初にご審議いただいた資料1・2の評価実施要領にそれぞれAやSの基準が書かれており、Sは今まで通り「評価委員会が特に認める場合」となっており、あえて厳密に書くということはしていない形で裁量をもたせているところでございます。今回一旦はご承認いただいたということで、内規のような形である程度目安を検討させていただき感じでしょうか。概ねこのような場合はSとするというようなことを、要領とは別な内規的取り扱いとして。

○ 委員

そうですね。申し合わせ事項のような。Sがつく可能性があまりにも薄すぎるのはよくないです。

○ 委員

ABCもかなり狭い範囲での話で、ⅢかⅣが9割あるかどうかであつという間にCに下がってしまうので、法人も自己評価を柔軟につけづらくなりますし、評価委員の方もⅡにすると大騒ぎになるかなと考えざるをえなくなってしまう

う面もあるかと思います。

○ 委員

ⅡがちょっとあってもAがつくという風に、Ⅱがあってもそれを打開する計画があればAがつくというような、そういう風にする評価もやりやすいですし、法人の方も書きやすいですね。毎回背伸びをして足がつってしまうような書類になるというのも、硬直化してしまうのもよくないですから。

○ 委員

長い期間なので、年次で評価していくと、最初の頃はⅡがありましたよね。それが今に至ってある程度一定水準に達したのかなということで、今評価するのは最終結果を踏まえての評価でよろしいんですね。であれば、次の計画でもっとスピードアップしてすごく良くなったときに、特に優れた実績として我々が認められるようなものが出てくるかもしれませんので、そういったときにはあまり厳格にせずに、評価できるような内容がいいかなと。今は実績報告をだいぶ具体的に書いてくださるようになったので、前よりは評価しやすくなった気がします。

○ 委員

両校ともいろんなことにチャレンジされているので、最初は結果が出なくても、次の年に出れば最後の評価はできますので、期間中を通してずっと高い点を取っていないといけないという話になると、なかなかいろんなことにチャレンジしにくくなるし、見守ることもできませんからね。

○ 委員

次のチャレンジを支援できるような考え方がないと、長期にわたってよくなっていくのは難しくて、常に背伸び状態だと高く飛べないので、一度しゃがむところがあってもそれを許すような形は必要じゃないかなと思います。

○ 事務局

そういう意味では、年度評価がなくなったので、そこにこだわらずに4年の見込評価、6年の最終評価に向けてやっていけるのではないかと思います。

○ 委員

そういう風にしていきたいというのを法人にも伝えていただいて、最初に成果が出なくてもやっていきましょうということで。評価方法も時間をかけ

て少し見直しをしていくといいかなと思います。

それでは、第72回愛知県公立大学法人評価委員会を終了いたします。ありがとうございました。

以上

会議録署名人

会議録署名人